

## 2008(平成20)年度事業計画の概要

大学全入時代を迎え、高等教育機関を取り巻く競争環境が更に厳しさを増しており、社会からの高等教育機関に対する要望が多様化・高度化している。

このような環境の中、学校法人龍谷大学は、「龍谷大学」「龍谷大学短期大学部」における諸事業を通して、高等教育機関に求められる「教育」「研究」「社会貢献」という三つの機能を通じて、社会、とりわけ、ステークホルダーからの要請に応えていかなければならない。

これらの使命を達成するため、龍谷大学及び龍谷大学短期大学部は、第4次長期計画（2000～2009年度の10カ年計画）を策定し諸事業を展開している。2008年度は第4次長期計画の終盤期にあたることから計画事業の完遂に努めるとともに、ポスト第4次長期計画のグランドデザインの策定に取り組む。また、本年度は、創立370周年記念事業の前年度であることから、龍谷ミュージアムをはじめとする第4次長期計画を完遂するとともに、とりわけ、記念式典、国際学術シンポジウム等の具体化を図ることとする。

2008年度の特徴的な取り組みとしては、「学生支援体制の充実」、及び「龍谷ミュージアムの開設(2011年4月開館)に向けての準備」を進める。

教育に関する主な取り組みとしては、新しい教学展開として、「理工学研究科（情報メディア学専攻・環境ソリューション工学専攻）博士後期課程の設置（2009年度開設予定）準備」、「現代的諸課題に応えうる宗教的実践者の養成を目的とする実践真宗学研究科（仮称）の設置（2009年度開設予定）準備」、「短期大学部を中心とした教学資源を活用し、新たに設置する総合人間学部（仮称）についての検討」を開始する。既存学部では、経営学部、法学部で時代

の要請に対応した新カリキュラムを展開する。また、龍谷大学付属平安中学校、平安高等学校の教学展開のさらなる充実に加え、教育連携校や高大連携校の充実、拡大を図る。

施設・設備に関する主な取り組みとしては、大宮学舎において、隣接地に情報教育施設及び研究機能の充実を目的とした新棟を建設する。新棟建設に伴い既存施設の改修を行い、大宮学舎全体の環境整備を行う。また、2007年度より、多様なメディア機器を利用した効果的な授業の推進と継続的な教育基盤整備を目的に、普通教室のマルチメディア教育環境の改善を行っており、今年度についても年次計画に基づき、引き続き整備を行い、教育環境の充実を図る。また、2007年度に学生の合宿施設（短期・長期・留学生寮）及び校友会・親和会の交流や宿泊を目的とする施設を京都市内に取得することとなった。本年度は、使用目的に応じた設備の改修工事を実施し使用を開始する。なお、本事業は、校友会と親和会の支援を受けつつ、進めるものである。

研究に関する主な取り組みとしては、「仏教文化に関する世界的教育研究拠点の形成」をテーマとして文部科学省に申請中のグローバルCOEプログラムの推進により、世界的な教育研究拠点の形成を目指すとともに、文部科学省私立大学研究高度化推進事業（進行中の研究7件、継続申請中の研究1件）についても積極的に推進する。また、大学が独自に実施する高度化推進事業として「アフガニスタン新発見仏教遺跡学術調査」を継続する。

これらの事業は、いずれも本法人が有している資源・ネットワークを有効に活用した事業展開であり、本学の設置理念の具現化及びブランド力向上に資するものであると認識し積極的に推進していく。

